

教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	小学科・学年	教科書
				4単位	全科・1年	ビジネス基礎（実教出版）
副教材	ビジネス基礎問題集（実教出版） 全商ビジネス計算実務検定模擬試験問題集2級（実教出版）					
学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力と次のとおりに育成することを目指す。					

評価の規準・観点		
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けているのかを評価する。	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて、工夫してより良く解決することについて考えたり、それらを基に議論したりする力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して、自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識し、当事者としての意識を持ち、他者との信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしているかを評価する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験、小テスト、単元テスト</li> <li>授業プリント等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験、小テスト、単元テスト</li> <li>授業プリント、グループワーク、発表</li> <li>ノートの見取り、ディスカッション等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、授業中の取り組み</li> <li>ノートの見取り、まとめ、発表</li> <li>定期試験、テストなどの振り返り</li> </ul>
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、発表会の取組、課題の提出、小テスト、定期試験等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容（特色を含む）			
月		月	
4	第1章 商業の学習とビジネス 1. いざ、ビジネスの世界へ 2. 私たちの社会とビジネス	11	第5章 企業活動の基礎
5	第2章 ビジネスとコミュニケーション 1. コミュニケーション 2. ビジネスマナー 3. 情報の入手と活用  ケースメソッド <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中間試験</span>	12	1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用  ケースメソッド <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">期末試験</span>
6	第3章 経済と流通の基礎	1	第6章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順 2. 代金決済
7	1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通  ケースメソッド <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">期末試験</span>	2	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用
9	第4章 さまざまなビジネス 1. ビジネスの種類 2. 小売業 3. 卸売業 4. 物流業 5. 金融業 6. 情報通信業	3	第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向  ケースメソッド <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学年末試験</span>
10	ケースメソッド <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中間試験</span>		1年間の学習のまとめ

担当者からのメッセージ及び特色
<p>1 授業では 商業高校で学ぶ商業諸科目のガイダンスから始まり、高校卒業後の進路と結びつけて学ぶことの大切さに気づいてもらう役割を担った科目です。経済の基礎的・基本的な仕組みを学習し、ビジネスの各分野について仕事をするうえで必要な基本的な知識や技能を習得できるようにします。地域の企業や社会の問題にも学習対象を広げて具体的に考えてもらう楽しさも味わってもらい、より専門的な商業の学習へ興味を持って意欲的に取り組んでもらう願いを込めて授業を行います。ケースメソッドを取り入れた主体的な学習に取り組めます。</p> <p>2 家庭では 商業経済やビジネスの学習対象は日常の生活に密着しています。普段から新聞やニュースを見て、まとめや感想を書くことで成長する実感を味わうことができます。</p> <p>3 その他 全国商業高等学校協会主催ビジネス計算実務検定試験2級に挑戦します。</p>